

創薬支援推進事業
創薬シーズ実用化支援基盤整備事業 中間評価報告書

研究開発課題名	スタートアップユニット
代表機関名	Beyond Next Ventures 株式会社
研究開発代表者名	伊藤 毅
全研究開発機関	平成 29 年度～令和 3 年度（予定）

1. 研究開発概要

AMED-iD3 の創薬シーズの実用化の実現に向けて、創薬シーズの事業化初期フェーズに必要な、経営者候補人材データの蓄積・育成、創業チーム組成、事業計画作成等の創業支援、資金調達支援などを実施する。また、先行事例や有効な機能を本事業に実装することで、支援基盤及び支援プログラムの改良、改善を図ることを目指す。具体的には下記 3 つの事業の柱を中心に活動している。

①創薬シーズの事業化に必要な人材プールプラットフォームシステムの構築、②ユニット独自のアクセラレーションプログラムへの参加シーズのソーシングやプログラムへ誘導するための準備支援、プログラムを通じた経営者人材育成・創業チーム組成と事業計画作成等の創業支援、③国内外の創薬シーズの創業支援活動の調査研究。

2. 研究開発成果

①創薬シーズの事業化に必要な人材プールプラットフォームシステムの構築

創薬シーズの事業化における研究者、経営者候補及び専門家等のアドバイザーといった創業メンバーの人材情報の登録を行い、オンライン上での各人材同士のマッチングサービスの運用を実施。継続してより多くの創薬シーズの事業化に必要な人材の開拓をするために、当該システムの広報イベントを開催し、各種広告媒体を活用した周知活動を行い、登録データの質を高めていく。

②ユニット独自のアクセラレーションプログラムへの参加シーズのソーシングやプログラムへ誘導するための準備支援、プログラムを通じた経営者人材育成・創業チーム組成と事業計画作成等の創業支援

事業化支援を行うため、AMED-iD3 ブースター支援中の研究者や、研究者をサポートする AMED 創薬支援戦略部の創薬コーディネーターに対して、創薬ベンチャー創業に関するセミナーを開催し、積極的にアクセラレーションプログラムへの参加や事業化を後押ししている。

③国内外の創薬シーズの創業支援活動の調査研究

技術系ベンチャー及び創薬シーズの事業化を支援するにあたり必要な事例について、海外の先進事例や国内状況調査等の調査研究を行い、調査結果に基づき、創薬シーズの創業支援に必要なプログラムや方法を再検討し、創薬シーズに特化したアクセラレーションプログラムや支援方法を構築、実施を目指している。

3. 総合評価

研究成果の最大化を進める上でベンチャーを立ち上げ、しっかりマネジメントしていける人材の育成や確保は非常に重要で社会ニーズも高い。当該人材プールを作成するための活動は計画どおり進行しており、登録者数も十分な規模に至っており、評価できる。なお、次のステージに向け、製薬業界に精通した人材を登用する、プール人材の質を上げるための PDCA サイクルを担うような部門を体制の中にはめ込む等の工夫を行うなど、優秀な人材が参画する具体的なシステム構築に向けて事業を進めていただきたい。